

2011 年 IEEE 東京支部 総会資料

2011 年 3 月 11 日

IEEE 東京支部

<http://www.ieee-jp.org/section/tokyo/>

2011年IEEE東京支部総会

総 会

日 時： 2011年3月11日（金） 14時30分～15時00分

場 所： 東京都品川区西五反田8丁目4-13
ゆうぽうと 7階 福寿

議 題：

第1号議案：2011年-2012年役員・理事選出【決議事項】

第2号議案：2010年活動報告【以下、報告事項】

第3号議案：2010年決算報告

第4号議案：2011年活動計画

第5号議案：2011年予算

講 演 会

日 時： 2011年3月11日（金） 15時10分～16時10分

場 所： 同 上

講演者： 佐々木 正一 氏

(慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授)

(2010年 IEEE Daniel E. Noble Award 受賞者,

2011年 IEEE Medal for Environmental and Safety Technologies 受賞者)

演 題： 「初代プリウスの技術と開発風土、そして次世代自動車の展望」

新Fellow表彰式

日 時： 2011年3月11日（金） 16時20分～17時00分

場 所： 同 上

懇 親 会

日 時： 2011年3月11日（金） 17時00分～19時00分

場 所： ゆうぽうと 6階 花梨

2011-2012年IEEE東京支部役員・理事

1. 役員

Chair	支部長	青山 友紀	(慶應義塾大学)
Vice Chair	副支部長	雁部 洋久	(富士通研究所)
Secretary	セクレタリ	有本 由弘	(富士通研究所)
Treasurer	トレジャラ	河野 隆二	(横浜国立大学)

2. 理事会メンバー

青山 友紀	(慶應義塾大学)	高村 誠之	(NTT)
雁部 洋久	(富士通研究所)	伊丹 誠	(東京理科大学)
有本 由弘	(富士通研究所)	葉原 耕平	(ATR)
河野 隆二	(横浜国立大学)	大越 康晴	(東京電機大学)
須原 理彦	(首都大学東京)	千葉 勇	(三菱電機)
小山 二三夫	(東京工業大学)	今井 秀樹	(中央大学)
大崎 博之	(東京大学)	花輪 誠	(日立)
荒井 滋久	(東京工業大学)	橋本 秀紀	(東京大学)

3. 常設委員会

Committee	Chair	Vice Chair	Secretary
Chapter Promotion	須原 理彦 (首都大学東京)	藤代 博記 (東京理科大学)	和田 圭二 (首都大学東京)
Fellow Nominations	小山 二三夫 (東京工業大学)	萩本 和男 (NTT)	宮本 智之 (東京工業大学)
Membership Development	大崎 博之 (東京大学)	平澤 隆行 (ビスキヤス)	小野 靖 (東京大学)
Nominations	荒井 滋久 (東京工業大学)	馬場 俊彦 (横浜国立大学)	西山 伸彦 (東京工業大学)
Technical Program	高村 誠之 (NTT)	庄木 裕樹 (東芝)	坂東 幸浩 (NTT)
Publications	雁部 洋久 (富士通研究所)	有本 由弘 (富士通研究所)	山下 真司 (富士通研究所)
Student Activities	伊丹 誠 (東京理科大学)	羽瀧 裕真 (茨城大学)	大野 光平 (東京理科大学)

2010 年 IEEE 東京支部活動報告

1. 支部総会

2010 年 3 月 10 日(水)、午後 2 時から如水会館 3 階 松風の間において開催した。
総会に引き続き、2010 年新 Fellow の表彰式を行った。

2. 支部理事会

第 1 回 3 月 10 日 (水) 如水会館

出席者 17 名

- ・ 前回理事会議事録の確認 (審議)
- ・ 2009 年会計報告および監査報告
- ・ 理事辞任の件 (審議)
- ・ 後任理事選出の件 (審議)
- ・ TCP Chair 交代の件 (審議)
- ・ 2010 年東京支部活動計画 (審議)
- ・ 2010 年予算
- ・ 2010 年総会資料 (審議)
- ・ 支部推薦 2011 年 Fellow 候補者の件 (審議)
- ・ 次期役員・理事の選出スケジュール (審議)
- ・ 委員会活動報告
- ・ Japan Council 理事会(2009 年第 3 回)報告
- ・ Region 10 Meeting 報告
- ・ Eindhoven 大学訪日への協力状況報告
- ・ IEEE Milestone 提案状況報告
- ・

第 2 回 6 月 22 日 (火) 丸の内センタービル

出席者 17 名

- ・ 前回理事会議事録の確認 (審議)
- ・ 会計進捗状況報告
- ・ Japan Council 理事会(2010 年第 1 回)報告
- ・ IEEE の日本語表記の件 (審議)
- ・ 次期役員・理事候補者指名の件 (審議)
- ・ Life Member Affinity Group 設立申請報告
- ・ 委員会報告
- ・ IEEE-JC 2011-2012 年役員候補者推薦の件
- ・ IEEE Tokyo Office 開設準備状況報告
- ・ 日本政府観光局による国際会議の誘致・開催支援のご案内

第 3 回 9 月 9 日 (木) 秋葉原ダイビル

出席者 18 名

- ・ 前回理事会議事録の確認 (審議)

(総会—第2号議案 資料)

- IEEE Japan council 理事会 (2010年第2回) 報告
- IEEE 本部役員選挙投票率向上策の件 (審議)
- IEEE Region10 Workshop 開催報告
- LMAG 設立総会の開催準備状況報告
- 2010年7月末会計報告
- 委員会活動報告
- IEEE Region 10 Meeting 招致の検討状況報告
- 東京支部・JC-HC 共催講演会開催報告
- IEEE Tokyo Office 設立準備状況報告

第4回 11月26日(金) アイビーホール (青学会館)

出席者 26名

- 前回理事会議事録の確認(審議)
- 2011-2012年支部役員・理事選出の件(審議)
- 2011-2012年支部理事会・委員会メンバー(審議)
- 2011-2012年 Japan Council 東京支部代表理事(審議)
- 2010年活動報告および2011年活動計画(審議)
- 2010年決算予想および2011年予算(審議)
- 常設委員会 2010年活動報告
- Affinity Group 2010年活動報告
- IEEE Region 10 Meeting 招致の件(審議)
- 次期理事会への引継ぎ事項
- IEEE-JC History Committee (10/29)参加報告
- IEEE-JC COC(11/19)参加報告

3. 支部主催講演会

1) 3月10日(水) 14:40~15:40 参加者: 38名

演題: 「良い理論、良い手法、良い道具—革新的な製品・システムの創造(設計)を支える鼎」

講師: 渡部 和 氏 IEEE Life Fellow, 創価大学名誉教授

2010年 IEEE Gustav Robert Kirchhoff Award 受賞者

2) 6月11日(金) 16:00~17:15 参加者: 92名

演題: 「音声認識研究のパラダイムシフト」

講師: 古井 貞熙 氏 東京工業大学 教授

IEEE James L. Flanagan Speech and Audio Processing Award 受賞者

3) 8月24日(火) 15:30~17:00 参加者: 32名

演題: 「Preserving, Explaining, and Making Known the History of Technology:
An Update on IEEE's Initiatives」

講師: John VARDALAS, Ph.D. IEEE History Center Outreach Historian

4) 10月8日(金) 11:00~12:00 参加者: 37名

演題: 「IEEE マイルストーンとテクニカルツアー・パナマ体験」

----日本の技術の歴史を世界へ IEEEフォーラムへの参加を」

講師: 松本 栄寿 氏 (IEEE Life Member) IEEE Japan Council History Committee, Secretary

(総会—第2号議案 資料)

- 5) 12月16日(木) 14:00～15:00 参加者：45名
演題：「量子ドット研究の展開 ～提案から実用化、極限光素子への挑戦～」
Quantum dot: From Science to practical implementation
講師： 荒川 泰彦 氏 東京大学教授
2009年 IEEE David Sarnoff Award 受賞者

4. その他の会合等

- (1) 「新 Fellow を囲む懇親会・記念パーティー」 3月10日 如水会館 3階 桜の間
参加者：Award 受賞者、2010年新フェロー、IEEE 役員・理事 他 計 32名

(2) 2010年 Region10 Meeting

R10 Region 10 Annual General Meeting 2010 が2月27日～2月28日、フィリピン (セブ) において開催され、河野 Treasurer が参加した

5. 常設委員会の活動

・ Fellow Nominations Committee

「2011年 IEEE フェロー候補者推薦のお願いと支部長エンドースメント発給に関するお知らせ」を電子メールにて東京支部会員宛、JC Chapter Chair 宛、Fellow 宛に東京支部事務局より発信した。

・ Technical Program Committee

上記3項に示す講演会を企画実行した。

・ Membership Development Committee

Senior member 数増大のため、Fellow 候補推薦依頼のメールに、併せて Senior member への昇格申請を関係者に奨励していただく依頼を加えた案内を東京支部事務局より発信した。

・ Publications Committee

会員への情報サービスとして、Tokyo Bulletin を8回発行/HPに掲載した。

(2月10日、4月7日、7月15日、8月31日、10月15日、11月12日、12月24日、12月31日)

・ Student Activities Committee

早稲田大学 Student Branch が4月に設立した

- 1) 3月5日 (金) Keio University Ph.D. Student Paper Contest 支援
- 2) 5月7日 (金) University of British Columbia との交流会支援
- 3) 6月5日 (土) 第3回学生・若手技術者のためのキャリアアップワークショップ支援
- 4) 6月23日(水) 早稲田大学 IEEE 学生支部キックオフイベント (講演会) 支援
- 5) 6月23日(水)～7月30日(金) 2010 Student Paper Contest 支援

(総会一第2号議案 資料)

- 6) 10月16日(土) Student Branch Leadership Training Workshop@香川大学 支援
- 7) 10月23日(土) 第4回学生・若手技術者のためのキャリアアップワークショップ支援
- 8) 11月20日(土) 第7回 IEEE 東京 Young Researchers Workshop 支援
- 9) 12月8日(土) Student Branch Workshop of Tokyo Section 支援

6. Affinity Groupの活動

・GOLD

- 1) 2月6日(土) GOLD 役員会
- 2) 2月20日(土)
~2月21日(日) IEEE GOLD International Conference on HTC Workshop 参加
- 3) 6月5日(土) 第3回学生・若手技術者のためのキャリアアップワークショップ
- 4) 8月11日(水)
~10月1日(金) 第2回 キャリアアップ・スキルアップに関するエッセイコンテスト
(11月20日の IEEE Tokyo Young Researchers Workshop にて表彰)
- 5) 8月12日(木)
~13日(金) 第1回富士登山ツアー
- 6) 8月19日(木) GOLD 役員会
- 7) 10月6日(水) Career Navigator への協力(桜修館中等教育学校訪問)
- 8) 10月23日(土) 第4回学生・若手技術者のためのキャリアアップワークショップ
- 9) 11月11日(水) Career Navigator への協力(筑波大付属坂戸高校訪問)
- 10) 11月20日(土) The 7th IEEE Tokyo Young Researchers Workshop への協力

・Life Members

本部 BoD にて Tokyo Section Life Members Affinity Group の設立が承認された。

- 1) 設立総会; 10月8日(金)10時30分~11時00分 参加者: 29名
- 2) Newsletter 第1号発行/HP掲載した。10月28日(木) 送付先: 348人

以上

会員の状況

1. 東京支部会員数

(各年の12月末の会員数)

Year	Total	前年比 増加数	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
2000	6,961	268	4.00	0	265	416	5,259	727	294
2001	7,200	239	3.43	0	275	431	5,143	983	368
2002	7,299	99	1.38	0	303	437	5,183	994	382
2003	7,318	19	0.26	2	308	429	5,595	587	397
2004	7,471	153	2.09	2	313	467	5,709	522	458
2005	7,708	237	3.17	2	326	467	5,856	541	516
2006	7,580	-128	-1.66	2	335	465	5,714	481	583
2007	7,560	-20	-0.26	2	334	451	5,722	491	560
2008	7,630	70	0.93	2	336	459	5,731	449	653
2009	7,814	184	2.41	2	336	459	5,880	408	729
2010	7,865	51	0.65	2	331	473	5,937	401	721

略号： HM: Honorary Member

F: Fellow

SM: Senior Member

M: Member

A: Associate

St: Student

2. 全日本会員数

Year	Total	前年比 増加数	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
1956	50								
1964	666			1	8	105	302	99	151
1970	1,179	73	6.60	1	21	145	735	109	168
1975	1,915	198	11.53	0	46	173	1,400	99	197
1980	2,844	173	6.48	0	79	242	2,206	131	186
1985	4,249	253	6.33	1	144	331	3,404	197	172
1990	6,650	486	7.88	1	202	441	5,183	600	223
1995	8,892	547	6.55	1	288	552	6,643	1,021	387
2000	10,867	492	4.74	1	386	628	8,147	1,083	622
2001	11,380	513	4.72	1	411	657	8,041	1,499	771
2002	11,699	319	2.80	1	447	661	8,191	1,530	869
2003	11,853	154	1.32	3	453	665	8,981	856	895
2004	12,253	400	3.37	3	466	709	9,259	773	1,043
2005	12,703	450	3.67	3	480	711	9,494	800	1,215
2006	12,960	257	2.02	4	500	742	9,606	742	1,366
2007	13,133	173	1.33	4	505	754	9,749	757	1,364
2008	13,346	213	1.62	4	513	761	9,804	723	1,541
2009	13,674	328	2.46	4	515	761	10,054	696	1,644
2010	13,770	96	0.70	4	517	775	10,205	675	1,594

IEEE東京支部2010年会計報告

単位：日本円

	予 算 (1/1～12/31)	会計報告 (1/1～12/31)	対予算 (%)	備考
収入の部				
◆IEEE 本部勘定	14,238,000	15,536,246	109	
・支部リベート	2,478,000	2,677,915	108	\$30,310.30@¥88.35 (2010年6月28日)
・Section Assessment	11,760,000	12,858,331	109	前期：\$137,282.91@¥91.63 (2010年4月20日) 後期：\$3,385.89 @¥82.43 (2010年11月18日)
◆雑収入	40,000	12,279	31	受取利息
◆その他	-	455,171	-	Milestone Plaque立替分(¥188,846) 監査費用(¥266,325)
◆積立金取崩	-	-	-	
・事務局設備基金取崩	-	-	-	
・為替変動準備金取崩	-	-	-	
収入合計	14,278,000	16,003,696	112	
支出の部				
◆Councilへの拠出金	11,760,000	12,858,331	109	前期：\$137,282.91@¥91.63 (2010年4月20日) 後期：\$3,385.89 @¥82.43 (2010年11月18日) 手数料：1,500円×2
◆会合費	1,600,000	1,451,202	91	
・総会費	700,000	792,530	113	総会資料印刷代/懇親会費を含む
・講演会費	500,000	334,188	67	講演会5回開催
・理事会費	100,000	221,837	222	新旧理事懇親会, 資料送付等
・その他会合費	300,000	102,647	34	R10 Workshop, 幹事会社引継懇親会
◆Committee活動費	100,000	180,376	180	LMAG設立総会費, Newsletter発行費
◆TOKYO GOLD支援費	200,000	288,612	144	
◆Student Branch支援費	1,000,000	1,161,859	116	ワークショップ支援費、SBLW旅費等
◆事務局設備費	300,000	179,880	60	掃除機
◆ITサービス運用費	1,000,000	928,620	93	ハウジング費用/常駐保守
◆通信費	40,000	15,728	39	Internet通信費等
◆支払手数料等	350,000	340,321	97	前年度監査費用/手数料等
◆予備費	500,000	494,760	99	Milestone Plaque Rebate相殺分(計8枚)
支出合計	16,850,000	17,899,689	106	
収支	-2,572,000	-1,895,993		
◆前年度繰越金	9,623,384	9,623,384	100	
◆次期繰越金	7,051,384	7,727,391	110	

財産目録

科 目	2010年12月31日	2009年12月31日
Balance Sheet		
I. 資産の部		
1. 流動資産		
○現金	20,000	20,000
○普通預金	7,707,391	9,603,384
○定期預金	16,698,001	16,698,001
◇現金・預金合計	24,425,392	26,321,385
◇その他流動資産		
流動資産合計:	24,425,392	26,321,385
2. 固定資産		
◇電話加入権	145,600	145,600
◇機器および備品	3,853,815	3,853,815
◇減価償却累計額	(3,853,815)	(3,775,450)
固定資産合計:	145,600	223,965
資産合計:	24,570,992	26,545,350
II. 負債および純資産の部		
1. 流動負債		
	0	322,350
2. 固定負債		
	0	0
負債合計:		322,350
3. 正味財産	24,570,992	26,223,000
負債および正味財産合計:	24,570,992	26,545,350
Statement of Activities		
I. 収益の部		
◇支部リベート	2,677,915	2,729,771
◇Section Assessment	12,858,331	13,705,741
◇その他(Milestone銘板代立替分/監査費立替分)	455,171	233,232
◇受取利息	12,279	36,325
◇雑収入		
収益合計:	16,003,696	16,705,069
II. 費用の部		
◇会合費	1,451,202	1,100,942
◇Student Branch支援費	1,161,859	804,322
◇GOLD支援費	288,612	
◇Committee費	180,376	
◇Japan Councilへの拠出金	12,858,331	13,705,741
◇事務局費および一般管理費	179,880	1,184,778
◇予備費	494,760	-64,757
◇Milestone Plaque費用		322,350
◇減価償却費		78,365
費用合計:	16,615,020	17,131,741
正味財産増減額	(611,324)	(426,672)
期首正味財産	26,197,763	26,624,435
期末正味財産	25,586,439	26,197,763
Statement of Cash Flows		
I. 収入の部		
◇支部リベート	2,677,915	2,729,771
◇Section Assessment	12,858,331	13,705,741
◇予備費(Milestone/Section Congress)	455,171	233,232
◇受取利息	12,279	36,325
◇雑収入		
収入合計:	16,003,696	16,705,069
II. 支出の部		
◇会合費	1,451,202	1,100,942
◇Student Branch支援費	1,161,859	804,322
◇GOLD支援費	288,612	
◇Committee活動費	180,376	
◇Japan Councilへの拠出金	12,858,331	13,705,741
◇事務局費および一般管理費	1,284,669	1,184,778
◇設備備品	179,880	
◇予備費(Milestone/Section Congress)	494,760	-64,757
◇固定資産等購入		
支出合計:	17,899,689	16,731,026
現金・預金増減額	(1,895,993)	(25,957)
期首現金・預金残高	26,401,825	26,427,782
期末現金・預金残高	24,505,832	26,401,825

Japan Council2010年会計報告

単位：日本円

	予 算 (1/1~12/31)	決 算 (1/1~12/31)	対予算 (%)	備 考
収入の部				
◆IEEE 本部勘定	816,480	919,723	113	
・Chapter Rebate	816,480	919,723	113	US\$10,410.00@¥88.35
◆各支部よりの拠出金	19,320,000	22,014,800	114	US\$240,370.58 平均@¥90.21
・札幌支部		326,676		前期分US\$3,567.14 @¥92.00 (手数料1500) (後期分：次年度の前期に請求。)
・仙台支部		1,017,303		前期分：US\$11,012.16 @¥92.38 (後期分：次年度の前期に請求。)
・信越支部		363,061		前期分：US\$3,961.33 @¥92.03 (手数料1500) (後期分：次年度の前期に請求。)
・東京支部		12,577,733		前期分：US\$137,282.91 @¥91.63 (手数料1500) 後期分：US\$3,385.89 @¥82.43 (手数料1500)
・名古屋支部		1,837,126		前期分：US\$19,985.07 @¥92.00 (手数料1500) (後期分：次年度の前期に請求。)
・関西支部		3,379,152		前期分：US\$36,734.24 @¥92.03 (手数料1500) 後期分：US\$602.96 @¥82.43 (手数料1500)
・広島支部		735,012		前期分：US\$8,005.57 @¥92.00 (手数料1500) (後期分：次年度の前期に請求。)
・四国支部		316,211		前期分：US\$3,477.58 @¥91.36 (手数料1500) (後期分：次年度の前期に請求。)
・福岡支部		1,136,727		前期分：US\$12,355.73 @¥92.00 (後期分：次年度の前期に請求。)
◆その他	-	266,325	-	本部より監査費用受領
◆雑収入	20,000	7,947	40	受取利息等
合 計	20,156,480	23,208,795	115	
支出の部				
◆事務局費	13,200,000	12,663,712	96	
・給料諸給	9,000,000	8,907,330	99	交通費/労働保険/所得税を含む
・臨時雇費	-	-	-	
・事務所賃借料	2,100,000	2,027,820	97	
・事務所設備費用	200,000	258,390	129	IT環境整備費など
・通信費	200,000	177,979	89	電話回線使用料、切手など
・交通費	50,000	7,190	14	
・事務用品費	150,000	112,370	75	
・事務機器レンタル費	1,000,000	721,504	72	コピー機・ファックス機/コピー使用料等
・支払手数料等	500,000	451,129	90	銀行手数料/会計監査費用立替など
◆会合費	2,600,000	3,415,864	131	
・理事会・各委員会費	2,500,000	3,316,167	133	参加旅費を含む、信越支部との交流費
・その他会合費	100,000	99,697	100	
◆Section支援費	2,000,000	2,581,745	129	仙台、信越、広島、四国、福岡、名古屋、関西各支部
◆Chapter支援費	7,316,480	6,895,355	94	Chapter Rebateを含む
◆Student Branch支援費	2,000,000	1,196,653	60	SBLW(香川大学開催、参加旅費など)
◆WIE支援費	500,000	394,289	79	6件分
◆予備費	500,000	100,000	20	選挙投票率コンテスト賞金
合 計	28,116,480	27,247,618	97	
収支	-7,960,000	-4,038,823	-	
◆前年度繰越金	19,740,051	19,740,051	100	
◆次年度繰越金	11,780,051	15,701,228	133	

2011年 活動計画

1. Japan Council 運営の支援

国内他支部(8支部)との連携を強化し、日本全体としてのIEEE活動の活性化に積極的に協力する。東京支部のSecretaryおよびTreasurerはJapan Councilの同役職を兼務しており、それぞれの役割においてCouncilの活動支援を推進する。

2. ボストン支部およびソウル支部との交流

2002年10月に調印を行ったボストン支部、2006年6月に調印を行なったソウル支部との姉妹支部協定をふまえて、両支部との交流を推進する。特に新たに姉妹協定を結んだソウル支部とは、2008年から実施している学生英語論文コンテストの共催に引き続き、交流活動として学生の交流を中心とした共同イベントをソウルまたは東京で開催することを計画する。東京支部のみならず、広く日本のIEEEの学生活動の活性化につながるよう活動を推進する。

3. 委員会活動

3-1. Student Branch 活動支援

東京支部の学生ブランチの数は、東京大学、東京工業大学、慶應義塾大学、横浜国立大学、東京都市大学(旧 武蔵工業大学)、東京電機大学、明治大学、東京理科大学、早稲田大学(2010年4月設立)の9校で、日本全国の学生ブランチはその他、静岡大学、大阪大学、熊本大学、北海道大学、東北大学、立命館大学、京都大学、山口大学、香川大学、奈良先端科学技術大学院大学、名古屋大学、兵庫県立大学、徳島大学があり(全国合計22校)、それぞれ学生を中心としてIEEE活動が展開されている。学生ブランチ活動の促進として、Region 10主催の学生活動への積極的な参加の呼びかけやブランチ活動への経済的支援などを通じたブランチ活動の活性化に協力するとともに、ブランチ新設への働きかけを行う。また、前述のボストン支部およびソウル支部との姉妹支部協定を踏まえて、学生英語論文コンテストやブランチ間交流等を推進する。

3-2. 会員数の増強

会員数の増加率の低迷を改善するため、Membership Development Committeeの活動を活性化させ、会員サービスおよび広報活動の強化などを通じて会員数の増強を図る。また、高グレード会員(Fellow + Senior Member)の比率が、全体平均より低水準にあることを踏まえて、Senior Memberの増強に向けた施策を検討する。さらに、支部独自の表彰制度の新設について検討を行う。

3-3. IEEE Fellow の推薦支援

「より多くのノミネーションを得る」「確実な昇格を果たすための支援・協力を行う」「WEB を活用した効率的なノミネーションプロセスの推進を行う」という昨年までの方針を維持・強化する。具体的には、2009 年と同様にフェローノミネーション連絡表、ノミネーション作成のための情報などを支部ホームページに掲載することによるノミネータ支援の強化を図り、Fellow への昇格数の増加を図る。

3-4. 東京支部講演会の開催

Technical Program Committee の活動を活性化させ、多くの支部会員に参加してもらえるように広範囲な分野の講演会を企画し、開催回数を増やす。

3-5. 会員への情報提供

Publications Committee が発行する IEEE Tokyo Bulletin (日本語、英語) を充実させ、インターネットによる会員へのタイムリーな情報配信を行う。インターネットサービスの拡充を図るため、2005 年より運用を始めた事務局独自サーバを活用し、会員への情報サービスの向上を図る。

3-6. 若手会員および Life 会員向け活動の活性化

2008 年 11 月に設立された Tokyo GOLD Affinity Group を中心に、学部卒業後 10 年間の GOLD (Graduate of Last Decade) 会員向けの活動を活性化させる。

2010 年 10 月に設立された Tokyo Life Members Affinity Group を中心に、Life 会員自身の活動の活性化を支援する。

4. 本部および Region 10 との連携強化

本部役員の訪日があれば、IEEE Japan Office と連携して、懇談会、講演会等を企画し、情報交換を行う。

Region 10 行事の東京地区開催誘致を検討する。

本部および Region 10 Award 等への東京支部からの推薦を活性化するための施策を検討する。

以上

IEEE東京支部2011年予算

単位：日本円

	2011年予算案 (1/1～ 12/31)	備考
収入の部		
◆ IEEE 本部勘定	13,284,180	US\$1=¥83を適用(2010年11月18日現在) 予算は-5円の78円で計算
・ 支部リベート	2,364,180	US\$30,310 (Gross) を想定
・ Section Assessment	10,920,000	US\$140,000 (Gross) を想定
◆ 雑収入	40,000	受取利息等
収入合計	13,324,180	
支出の部		
◆ Councilへの拠出金	10,920,000	Section Assessment全額
◆ 会合費	1,600,000	
・ 総会費	700,000	資料印刷代/記念品/懇親会費を含む
・ 講演会費	500,000	会場費等
・ 理事会費	100,000	
・ その他会合費	300,000	
◆ Committee活動費	100,000	HP制作費など
◆ Tokyo GOLD活動費	200,000	
◆ Student Branch支援費	1,000,000	ワークショップ、SBLW支援費
◆ 事務局設備費	300,000	ファシリティの新規購入、ソフト更新費用など
◆ ITサービス運用費	1,000,000	常駐保守/トラブル対応/HP 等
◆ 通信費	40,000	Internet通信費/宅急便/ハガキ・切手等
◆ 支払手数料等	350,000	前年度監査費用/銀行手数料等
◆ 予備費	500,000	
支出合計	16,010,000	
収支	-2,685,820	
◆ 前年度繰越金	7,727,391	
◆ 次期繰越金	5,041,571	

2011年新Fellows Citation

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	東京	土井 美和子 Miwako Doi	東芝	<i>for contributions to the human interface of document processing</i>
2	東京	藤田 欣裕 Yoshihiro Fujita	愛媛大学	<i>for contributions to imaging systems for high resolution television</i>
3	東京	久本 大 Digh Hisamoto	日立製作所	<i>for contributions to complementary metal-oxide semiconductor devices</i>
4	東京	木村 紳一郎 Shin'ichiro Kimura	日立製作所	<i>for contributions to advanced stack memory cells for high density dynamic random access memories</i>
5	東京	中込 儀延 Yoshinobu Nakagome	ルネサスエレクトロニクス	<i>for pioneering development of low-voltage dynamic random access memory circuits and low-leakage complementary metal-oxide semiconductor circuits</i>
6	東京	中村 仁彦 Yoshihiko Nakamura	東京大学	<i>for contributions to robotics</i>
7	東京	大久保 榮 Sakae Okubo	早稲田大学	<i>for contributions to video coding and multimedia communication systems</i>
8	東京	島田 政信 Masanobu Shimada	宇宙航空研究開発機構	<i>for contributions to radar remote sensing technologies</i>
9	東京	杉山 昭彦 Akihiko Sugiyama	NEC	<i>for contributions to speech and audio signal processing</i>
10	東京	内山 邦男 Kunio Uchiyama	日立製作所	<i>for contributions to power-efficient microprocessors</i>
11	東京	山本 博資 Hirosuke Yamamoto	東京大学	<i>for contributions to source coding and information-theoretic secure coding</i>

2011年他支部新Fellows Citation

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	福岡	黒川 不二雄 Fujio Kurokawa	長崎大学	<i>For contributions to switching power converter control</i>
2	関西	杉浦 博明 Hiroaki Sugiura	三菱電機	<i>For leadership in color management technology in multimedia systems</i>
3	仙台	内山 勝 Masaru Uchiyama	東北大学	<i>For contributions to design, modeling, and control of robotic structures</i>
4	仙台	奈良 宏一 Koichi Nara	福島工業高等専門学校	<i>For contributions to automation of power distributive systems</i>
5	札幌	小川 恭孝 Yasutaka Ogawa	北海道大学	<i>For contributions to estimation techniques and antenna signal processing</i>

2011年 IEEE Medal/Award 日本人受賞者

No.	Award	氏名/所属	Citation
1	IEEE Edison Medal	赤崎 勇 (名城大学)	<i>For seminal and pioneering contributions to the development of nitride-based semiconductor materials and optoelectronic devices, including visible wave length LEDs and lasers.</i>
2	IEEE Medal for Environmental and Safety Technologies	佐々木 正一 (慶応義塾大学)	<i>For pioneering contributions to the development and market penetration of hybrid electric vehicles (HEVs) through the invention of their power output apparatus and control method.</i>
3	IEEE Internet Award	村井 純 (慶応義塾大学)	<i>For his leadership in the development and deployment of the global Internet, especially across the Asia-Pacific region.</i>
4	IEEE Robotics and Automation Award	井上 博允 (東京大学)	<i>For original and continuous contributions to research in intelligent robotics, in particular to real-time vision and humanoid robotics.</i>

The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. Tokyo Section Bylaws

In all instances, the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Bylaws, Constitution, RAB Operations Manual and IEEE Policy and Procedures will prevail when there is a conflict between these documents and Section Bylaws.

Article I - Name and Territory

1. This organization shall be known as the Tokyo Section of The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc., hereinafter called the IEEE Tokyo Section.
2. The territory of the IEEE Tokyo Section, as approved by the Regional Activities Board, shall be the Kanto district in Japan with postal codes starting 100 through 379 and 400 through 409. (Note: The members whose postal codes are not recorded in the IEEE database shall tentatively belong to the Tokyo Section until they are clarified.)

Article II - Officers

1. The elected officers of the Section shall be the Chair, Vice Chair, Secretary and Treasurer, hereinafter called the Section Officers. The offices of the Secretary and Treasurer may be combined.
2. The terms of office of the elected officers shall be for two (2) years.
3. The terms of office will begin on 1 January but in any case the outgoing Officers will continue until their successors are duly elected and take office.
4. Any vacancy occurring during the years shall be filled for the remainder of the term by a majority vote of the Section Executive Committee.
5. The consecutive period of service in any one office shall not exceed three years. However, an office may not serve more than one successive two-year term without approval of the Regional Director.
6. The duties of the Section Officers will be available from Regional Activities Department (RAD).

Article III - Standing Committees

1. The Standing Committees of the Section will be as follows:
 - Chapter Promotion
 - Fellow Nominations
 - Membership Development
 - Nominations
 - Technical Program
 - Publications
 - Student Activities
2. The Chair of the Standing Committees will be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee, and its term will correspond to the elected officers.
3. Each Standing Committee Chair will appoint his/her committee members with approval from the Section Executive Committee, and their terms will correspond to the elected officers.
4. Duties of the Standing Committees will be available from Regional Activities Department (RAD).

Article IV - Management

1. The management of the IEEE Tokyo Section shall be conducted by the Section Executive Committee which shall consist of the elected Officers, the Past Section Chair, the Standing Committee Chairs, representatives from Society Chapters and such other members appointed by the Section Chair and/or Section Executive Committee. The number of the Section Executive Committee members shall not exceed nineteen (19) and the number of voting members elected must be at least one greater than those appointed.
2. A majority of the Section Executive Committee shall constitute a quorum, provided that delegates elected by the Section membership are at least one greater in number than delegates appointed to the Committee.
3. A majority of the Section Executive Committee present shall be necessary in the conduct of Section business.
4. Meetings of the Section Executive Committee will be held at least four (4) times a year, and will be called by the Chair or by a request of any three (3) members of the Section Executive Committee.
5. The fiscal year of the Section shall be 1 January - 31 December.

Article V - Nomination and Election of Officers

1. The Nominations Committee consisting of three (3) or more members, not then Section Officers, shall be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee.
2. The nominations by the Nominations Committee will be announced to the Section membership and, following this, a minimum of twenty-eight (28) days allowed for additional nominations by petition. To be valid, the petition must be signed by two percent (2%) or more voting membership.
3. If only one nomination is made for each office, the election will be made at the Annual Meeting. If additional nominations are made, election will be by ballot mailed to the membership. The votes will be counted by a Tellers Committee appointed by the Section Chair.
4. The timetable for this procedure is as follows:

Announce nominations	by 31 August
Close nominations by petition	by 30 September
Mail a ballot, if required	by 31 October
Hold elections	by 30 November
5. A plurality of the votes cast shall be necessary for election.

Article VI - Business Meeting

In order to transact business at a Section meeting, at least three (3) Section Executive Committee members must be present to constitute a quorum.

Article VII - Finances

1. All expenditures of Section funds must be approved by the Section Executive Committee.
2. Without prior authorization of the IEEE Executive Committee, Section funds can only be used for normal operations of the Section.
3. The Treasurer shall be authorized to draw funds as approved by the Section Executive Committee.
4. An assessment can be charged to members of the Tokyo Section in accordance with the IEEE Bylaws.

Article VIII - Amendments

1. Proposals for amendments to these Bylaws may originate in the Section Executive Committee or by a petition signed by twenty percent (20%) or more voting members.
2. Amendment to or revocation of these Bylaws shall require a two thirds ($\frac{2}{3}$) majority vote of the Section Executive Committee.

3. Following the approval of the IEEE Tokyo Section, amended Section bylaws must be submitted to the IEEE Regional Activities Department (RAD) for review. RAD staff will then secure the approval of the Region Director, following up where necessary with the Section ExCom. The bylaws will not be effective until such time as they have been approved by the Regional Activities Board.

-
- The Tokyo Section Executive Committee approved the revision at its meeting on 15 December 2006.

事務局連絡先

〒105-0003 東京都港区西新橋 3 丁目 6 番 2 号 西新橋企画ビル 8 階

Tel: 03-5776-7670

Fax: 03-5401-3850

Email: tokyosec@ieee-jp.org